

畜産みやぎ

題 字

宮城県知事 村井嘉浩

発行所

仙台市宮城野区安養寺三丁目11番24号

一般社団法人 宮城県畜産協会

電話 022-298-8473

編集発行人

佐野和夫

印刷所

(株)東北プリント



「第61回 宮城県ブラックアンドホワイトショウ」(令和8年6月20日 美里町)

もくじ

CONTENTS

令和8年度畜産業振興事業について……………	2-3	衛生便り……………	11
令和8年度宮城県畜産協会事業の概要について…	4-5	第61回宮城県ブラックアンドホワイトショウの	
令和7年度家畜共済事業実績について……………	6	結果について……………	12
令和7年度生乳需給状況及び		令和8年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ…	12
令和8年度生乳計画生産目標について……………	7	価格安定対策事業の発動状況について……………	12
仙台市中央卸売市場 食肉市場業務開始51周年記念			
枝肉共進会の受賞結果について……………	8		
令和8年度仙台牛枝肉共進会 in Tokyo 終了報告 ……	9		
“World Milk Day” 理解醸成活動2026 ……………	9		
畜試便り……………	10		
令和9年度宮城県農業大学校入校生を募集します			
(推薦入校試験)……………	11		



みやぎの
畜産情報
発信基地

宮城県畜産協会ホームページ

U R L <https://www.miyagi-chikusan.jp>

畜産みやぎは上記ホームページからもご覧いただけます。



令和8年度畜産業振興事業について

宮城県農政部畜産課

畜産業振興事業は、「独立行政法人農畜産業振興機構法」に基づき、畜産振興に関する多岐にわたる事業を農畜産業振興機構が実施しているものです。

機構から補助を受けるのは、公募により選ばれた全国団体がほとんどですが、県域団体を通じて農協や畜産経営者も間接的に補助を受けることが可能です。

令和8年度畜産業振興事業の一部を紹介します。

事業名	事業目的	事業内容
酪農経営支援総合対策事業 4,766百万円	我が国の酪農は、高齢化等により酪農家戸数や飼養頭数が減少し、生産基盤の弱体化が進行している。このため、生産者集団等が行う地域の創意工夫を生かした取組を支援し、担い手や優良な乳用牛を確保していくとともに、経営の持続性の向上を図り、地域の実情に応じた酪農生産基盤の維持・強化を図る。 補助率（定額、2/3、1/2、1/3以内）	(1) 酪農生産基盤・飼養環境改善の支援 （ア）後継牛確保のための環境整備（機器導入（カーフハッチ、分娩カメラ等）、つなぎ牛舎の改良）、飼養環境の改善、暑熱対策、育成牛等の事故率低減支援（ワクチン1千円／頭）、供用期間の延長支援（肢蹄保護、乳房炎ワクチン等、1千円／頭）、暑熱等により不足する国産飼料の確保、冠水等により生育不良となった永年草地への追播 （イ）労働負担軽減に資する機械装置等の導入と一体的な施設の整備を支援する。 (2) 地域の生産体制の強化 生産基盤が脆弱な地域において持続的な生乳生産体制を確保するため、（ア）経営離脱農家等を研修施設として活用した担い手の確保、（イ）将来にわたって持続可能な経営体の創出、（ウ）後継牛育成のための広域預託を推進する取組や家畜輸送の体制整備等を支援する。 (3) 酪農ヘルパーの利用拡大 ①酪農ヘルパーの職業認知度向上、修学支援、学生インターンシップの受入、人材コンサルタントの活用、ヘルパー研修や外国人材の活用等の人材確保・育成、②傷病時等の利用料金を軽減するための互助基金制度及び③広域利用調整、酪農ヘルパーの待遇改善や利用組合の経営改善等の利用組合強化の取組を支援する。 (4) 生乳流通体制の合理化の推進 生乳流通コストの生産者負担軽減等を図るため、生乳生産者団体等が行う「生乳流通合理化計画」等の検討・作成、生乳流通関係機器のリース導入、貯乳施設の減容化・需給調整機能を持たせるために必要な補修、乳代精算方法の効率化等の取組を支援する。 (5) 生乳需要基盤の確保の推進 国産牛乳乳製品の消費の維持・定着を図るため、消費者等への酪農理解醸成活動、牛乳乳製品の新たな利用場面の普及や価値訴求、生産者自らが製造する牛乳乳製品の需要拡大のための技術研修や販路拡大等の取組を推進する。 (6) 乳用牛の計画的な改良・増殖の推進 牛群検定組合等が行う乳用牛の飼養管理に係る技術指導、調整交配を支援する。
肉用牛経営安定対策補完事業 4,208百万円	肉用牛生産は中山間地域や離島等の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしてきたが、小規模・高齢者層を中心とした生産者の離脱等から生産基盤の脆弱化が危惧されている。このため、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の確保、子牛生産の効率化、担い手の育成等を支援することにより、生産基盤の強化を図る。 補助率（定額、1/2以内等）	(1) 肉用牛生産基盤強化対策 ①遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の導入を支援する。 導入奨励金：6万円／頭、9万円／頭（希少性の高い牛） ②繁殖経営の生産性向上に必要な簡易牛舎（育成牛の簡易牛舎を含む）の整備及び機器資材の導入等に対して支援を行う。 ③肉用牛ヘルパーの推進を支援する。 ④多様な担い手の育成を支援する。 ⑤特定地域における肉用牛の処理を支援する。 ⑥和牛精液等の流通管理を周知・徹底する取組を支援する。 (2) 地方特定品種並びに離島等及び山振地域の肉用牛振興対策 ①地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用の拡大、飼養頭数の増頭等を推進するための取組を支援する。 ②離島等及び山振地域における肉用子牛の集出荷を促進する取組や、購買者を誘致する取組を支援する。 (3) 肉用子牛流通等対策 ①家畜商組合等が行う、金融機関から借り入れた資金を活用した肉用子牛等の預託を促進するための奨励金を交付する。

事業名	事業目的	事業内容
		②家畜商組合等が借り入れる預託牛の導入資金に係る債務保証及びその代位弁済を行う取組等を支援する。 ③肉用子牛等の流通の多様化を図るため、家畜商組合等による地域における優良な肉用牛の集出荷体制を改善する取組等を支援する。 ④肉用牛の輸送体制の効率化等を図るため、輸送環境を改善する設備機器等の導入や中継拠点となる係留施設の整備、運転手への家畜の取扱に関する研修等の取組を支援する。
養豚経営安定対策補完事業 317百万円	我が国の基幹的な農業部門のひとつである養豚経営は、地域経済の活性化に重要な役割を果たしてきたが、飼料価格の高騰や豚熱のまん延等から生産基盤の弱体化が危惧されている。 このため、肉豚の能力向上への集団的な取組、家畜人工授精等の技術習得のための研修会、飼養管理技術に関する実証、アフリカ豚熱等リスク低減等を支援することにより、生産基盤の強化を図る。 補助率（定額、1/2以内、1/3以内）	(1) 集団的な肉豚能力向上支援 生産者集団等における、能力向上推進計画に基づく純粋種豚等の導入、純粋種豚の能力向上に資する一代雑種雌豚の導入、及び特色ある肉豚生産のため能力向上に資する種豚（ランドレース種、大ヨークシャー種、デュロック種を除く）の導入経費に対して支援する。 (2) 生産性向上支援 肉豚等の生産性向上や生産コスト削減の観点から、家畜人工授精に必要な知識の取得や飼養管理技術の向上・習得のための研修会開催、地域の生産性向上に資する飼養管理技術の向上のための実証、先進的な経営改善の取組の調査や普及活動等に対して支援する。 (3) アフリカ豚熱等リスク低減対策 種豚供給拠点の整備や出荷が困難となった肥育素豚の追加的な飼養等に対して支援する。

令和8年度畜産業振興事業一覧

事業名	所要額（百万円）	事業名	所要額（百万円）
加工原料乳生産者経営安定対策事業	-	畜産副産物適正処分等推進事業	5,588
酪農経営支援総合対策事業	4,766	畜産経営安定化飼料支援事業	149
肉用牛経営安定対策補完事業	4,208	畜産経営災害等総合対策緊急支援事業	3,280
養豚経営安定対策補完事業	317	バター・脱脂粉乳需給不均衡及び生乳流通改善緊急事業	1,708
堆肥舎等長寿命化推進事業	213		
畜産高度化推進リース事業	2,200	優良和子牛生産推進緊急支援事業	66,227（内数）
畜産特別支援資金融通事業	1,143	和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業	66,227（内数）
食肉流通改善合理化支援事業	3,385	食肉処理高度化緊急特別対策事業	3,000

※ 令和8年度畜産業振興事業の概要
農林水産省HP

https://www.alic.go.jp/c-kanri/shinko01_001519.html
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/1_zigyo/attach/pdf/index-233.pdf
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/kikaku/lin/1_zigyo/attach/pdf/index-237.pdf

(企画管理班 蝦名 由璃子)

地方競馬全国協会からのご案内

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡下さい。
地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。
なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト（<http://www.keiba.go.jp/>）でもご覧になれます。
(担当：審査部登録課 電話03-3583-2142)

岩手競馬（盛岡・水沢開催）8・9月 開催予定表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
			盛岡						盛岡							盛岡						盛岡								盛岡	
9月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	盛岡					水沢							水沢								水沢							水沢			

※開催期間中の重賞レース
・8/2(日) 第27回フェアリーカップ ・8/9(日) 第40回ひまわり賞(オークス) ・8/11(祝・火) 第31回クラスターカップ
・8/18(火) 第27回岩手県知事杯OROカップ ・8/23(日) 第28回ジュニアグランプリ ・8/30(日) 第52回ビューチフルドリーマーカップ
・9/1(火) 第58回不来方賞 ・9/6(日) 第44回ビギナズカップ ・9/13(日) 第34回青藍賞
・9/21(祝・月) 第7回オートムティアラ ・9/27(日) 第13回ヴィーナススプリント

令和8年度宮城県畜産協会事業の概要について

一般社団法人 宮城県畜産協会

日頃より本会の事業推進に多大なるご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

依然として高止まりが続く世界的な物価高騰は、畜産業においても収入の伸び悩みに加え生産費の高騰となり、畜産全般で非常に厳しい経営状況が続いています。

繁殖農家の廃業等により子牛生産頭数の減少が素畜費の高騰を招き肥育牛経営の厳しさが伺われます。

酪農経営においてプール乳価は上昇傾向となりましたが、生産費高騰は変わらず、戸数、頭数ともに減少傾向となっています。

家畜伝染病においては、ランピースキン病は終息に至りましたが、監視伝染病に指定されることとなりました。高病原性鳥インフルエンザは野鳥の移動時季でもあり、また隣国で発生しているアフリカ豚熱の水際対策と併せてより一層の飼養衛生管理の徹底が必要となっています。

このような情勢の中、本会としては国や県・関係団体等と連携し、生産コストの削減や経営基盤の体質強化、並びに畜産物消費拡大のための各種支援対策をはじめ、経営支援、価格安定対策、家畜衛生対策、家畜改良の諸事業に引き続き取り組み、畜産経営の安定化及び本県畜産の振興と継続的發展に努めます。

Ⅰ 畜産経営支援対策事業

1. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成強化を図るため、畜産経営診断の支援、畜産経営情報のデータベース化、畜産経営セミナー・研修会等の諸事業を実施し、経営実態に即した総合的な支援指導を実施します。

2. 畜産特別資金等推進指導事業

大家畜・養豚特別支援資金借受者の経営改善のため、支援協議会の開催、経営改善計画の作成・見直し等の指導を実施します。

3. 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化を図るため、遺伝的に多様な優良繁殖雌牛の導入、簡易畜舎等の整備を行う生産集団及び肉用牛ヘルパー組織に対して補助します。

4. 優良繁殖雌牛更新加速化事業

肉用牛の生産基盤の強化のため、畜産クラスター計画に基づき、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新した生産者に対して補助金を交付するため、農協等を対象に事業説明及び事業参加要望書等の取りまとめ等を実施します。

5. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）に係る事業推進業務

畜産クラスター事業の機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産クラスター協議会等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

6. 生産技術情報提供事業

家畜の生産性向上に係るデータ等の収集、分析及び技術指導を実施し、家畜の生産性向上を図ります。

7. 畜産経営体生産性向上対策事業に係る事業推進業務

酪農家や肉用牛農家の省力化・生産性向上に資するICT関連機械導入事業の円滑な推進を図るため、畜産応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

8. 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（酪農労働省力化事業）に係る事業推進業務

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（通称：楽酪GO事業）の省力化機械導入事業及び施設整備事業の円滑な推進を図るため、楽酪応援会議等を対象に事業説明会及び事業参加要望書等の取りまとめを実施します。

Ⅱ 家畜衛生対策事業

1. 特定疾病自衛防疫事業推進事業

(1) 各予防接種

伝染性疾病に対する予防接種を実施し、疾病発生による損耗防止に努めます。

(2) 自衛防疫推進事業

自衛防疫事業を円滑に推進するため自衛防疫推進会議等を開催し、予防接種や協会が実施する各種事業について情報共有化を図ります。

2. 家畜生産農場衛生対策事業

生産農場におけるヨーネ病、牛伝染性リンパ腫、牛ウイルス性下痢症、牛サルモネラ症の清浄化対策及び牛アカバネ病の発生・流行防止対策を推進します。

3. 牛疾病検査円滑化推進対策事業

国内の牛海綿状脳症（BSE）の浸潤状況を的確に把握するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、死亡牛の所有者に対し、検査促進費、検体提供費、検査経費を補助し、死亡牛のBSE検査を推進します。

また、県、関係団体、死亡牛収集業者で構成する牛疾病検査円滑化推進対策協議会を開催し、死亡牛BSE検査を円滑に行うための体制維持に取り組みます。

4. 畜産物衛生環境整備円滑化事業

家畜死体冷却保管施設について、県、施設を利用している収集運搬業者、岩出山牧場管理者と協力し、施設の

効率的な活用、衛生環境の保持、公害発生防止対策を図り、県内で発生する死亡家畜の円滑な処理を推進します。

県が実施する死亡牛のBSE検査の採材場所として利用している死亡獣畜取扱施設及び家畜死体冷却運搬車の点検・整備・修繕を継続し、使用者の安全確保や円滑な検査体制の維持を図ります。

5. 家畜防疫・衛生指導対策事業

(1) 地域自衛防疫取組促進対策事業

高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の特定家畜伝染病の発生に備えて県内各地域で実施される防疫演習、埋却演習、研修会等を支援し、県の各部局・市町村・関係団体等が一体となった防疫体制の構築・維持を推進します。

(2) 地域農場HACCP認証支援事業

県内における農場HACCP認証に取り組む農場に対し、専門家による構築指導を行い、地域における農場HACCP取組の中核となる農家を育成し、普及推進を図ります。

6. 育成馬予防接種推進事業

競走馬繁殖農場において、繁殖牝馬及び入厩前の育成馬に対し、馬インフルエンザワクチン及び三種混合ワクチン接種により疾病の発生防止を図ります。

7. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザワクチン接種及び繁殖牝馬に対する馬鼻肺炎ワクチン接種を推進し疾病の発生防止を図ります。

8. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫、豚熱等の特定家畜伝染病が発生した場合に備え、発生農場が経営再開までに必要な経費等を生産者が相互に支援を行うための互助基金制度について、関係機関と連携を図り普及啓蒙を図ります。

9. 生乳取扱者研修事業

宮城県における生乳の乳質改善と今後の生乳品質格付方法の多様化に対処するため、生乳取扱者の生乳等に関する知識及び総合的検査技術の向上と県内統一した基準に基づく生乳の検査、衛生的取扱の適正化を推進するため、認定講習会並びに研修会を開催し生乳品質の改善向上を図ります。

10. 獣医師養成確保修学資金給付事業

獣医学を専攻する学生のうち産業動物獣医師を志す者に対し、獣医師養成確保修学資金を給し有能な産業動物獣医師の養成及び確保を図ります。

Ⅲ 家畜価格安定対策事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、肉用牛生産の存立を確保するため、肉用子牛の生産者に対して、子牛の再生産を確保するため一定の条件の下、生産者補給金を交付します。

2. 優良和子牛生産推進緊急支援事業

物価高騰の煽りを受け、生産者の経営環境が悪化しており、生産意欲の低下による肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されるため、飼養管理向上に向けた取組を行っている生産者に対して、和子牛のブロック別平均販売価格が発動基準を下回った場合に奨励金を交付します。

3. 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業

物価高騰の煽りを受け、繁殖農家の生産基盤が危機的状況にあることから、和子牛のブロック別平均売買価格が発動基準を下回った場合に、「和子牛産地基盤強化計画」を作成した地域において、産地基盤強化に資する取組メニューを1つ以上行う生産者に対して、販売・自家保留頭数に応じた奨励金1万円/頭を交付します。

4. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（肥育牛生産者積立金）

肉用牛肥育経営は生産費に占める素畜費の割合が大きく、素畜価格と枝肉価格の水準によって経営収支の悪化が懸念されます。

このため、生産者積立金を造成し、毎月の肥育牛1頭当たりの粗収益が生産コストを下回った場合に差額の9割を補てんします。

5. 肉豚経営安定交付金制度

制度の円滑な実施を図るため、登録生産者との委託契約に基づき、書類申請及び保管等に関する助言指導を行います。

6. 肉牛事故共助推進事業

全農宮城県本部が販売する肉畜に発生する事故に対し、その損害を補償します。

Ⅳ 家畜改良事業

1. 宮城県総合畜産共進会開催事業

家畜の改良増殖と飼養管理技術の向上を図るため、乳用牛、肉用牛、養豚（枝肉）を対象とした総合畜産共進会を開催します。

2. 家畜人工授精用精液流通調整事業

本県の家畜改良を円滑に推進し、優れた能力をもった種雄牛の造成、商品性の高い乳牛・肉牛の生産を拡大するため、県内7カ所にサブセンターを設け、優良種雄牛を主体とした凍結精液の供給と液体窒素の配送を行うとともに、適正使用、計画交配を指導します。

(総務課 山崎 哲)

令和7年度家畜共済事業実績について

NOSA | 宮城

令和7年度の家畜共済事業実績を報告いたします。

1. 引受関係

昨今の世界情勢の不安定から、資材等の高騰による経費の増大で畜産業は非常に厳しい状況にあり廃業も続いております。農業者の廃業等による戸数の減少も影響し引受頭数は延べ195,213頭（前年比96.6%）となりました。

共済金額についても、引受頭数の減少が影響し51,363,329千円（前年比93.2%）であり前年度より減少となりました。

2. 事故関係

死亡廃用事故頭数は、全体で626頭減少（前年比85.9%）となりました。病類別にみると泌尿器病等増加したのもありましたが、循環器病で249頭、消化器病で140頭、子牛・胎子の新生子異常では70頭減少しました。牛伝染性リンパ腫による事故については前年度より1頭増加の151頭で、死亡廃用事故全体の4.1%と近年では最大の発生割合となりました。

支払共済金は、事故頭数が減少したことで593,065千円（前年比86.1%）となりました。

病傷事故については、乳用牛で34件増加となりましたが、肉用子牛で1,290件、肉用成牛で199件減少し、全体で1,489件（前年比95.4%）の減少となりました。病類別でみると、生殖器病が257件、泌尿器病で77件増加し、その他微増したのもあったが全体的に減少となっています。

支払共済金は、558,877千円となり前年度より21,320千円減少（前年比96.3%）しました。これについては、牛の引受頭数が減少していることありますが、1事故当たりの支払金額も減少しております。

令和7年度家畜共済事業実績

			引受（加入）			死廃事故			病傷事故		
			頭 数 頭	共済金額 千円	共済金額前年比 %	頭 数 頭	支払共済金 円	共済金前年比 %	件 数 件	支払共済金 円	共済金前年比 %
家畜	死亡廃用共済	乳 用 牛	16,185	3,087,837	90.6	955	126,593,002	96.1			
		肉 用 牛	105,156	46,278,357	93.2	2,717	464,420,690	83.8			
		一 般 馬	2	1,265	97.1	0	0	－			
		種 豚	1,906	130,772	111.2	11	552,800	117.9			
		肉 豚	16,995	203,940	78.2	121	1,498,405	66.5			
		種 雄 牛	10	4,870	106.8	0	0	0.0			
		計	140,254	49,707,041	93.0	3,804	593,064,897	86.1			
	疾病傷害共済	乳 用 牛	11,897	475,955	106.6				8,242	137,181,784	100.4
		肉 用 牛	43,050	1,179,896	95.2				31,042	421,674,625	95.1
		一 般 馬	2	45	100.1				0	0	－
		種 豚	0	0	0.0				1	8,577	82.9
		種 雄 牛	10	391	102.6				1	11,808	35.3
		計	54,959	1,656,287	98.3				39,286	558,876,794	96.3
合 計		195,213	51,363,329	93.2	3,804	593,064,897	86.1	39,286	558,876,794	96.3	

組合では、特定損害防止事業で令和6年度より新生子異常に取り組み、死亡事故発生の低減効果を認めましたが、依然、胎子死等の新生子異常の割合が死亡事故全体の中で高く推移しています。また、牛伝染性リンパ腫についても特定損害防止事業で取り組んでいましたが、依然事故件数は増加しております。

NOSA | 宮城では、畜産経営安定のため、これからも丁寧な説明による加入推進を行ってまいります。制度や補償内容についてお気軽にお尋ねください。

（第二事業部家畜課 原 英博）

感動を呼ぶ製品をめざして ORION ハードシステムとソフトシステム （ビフォー・アフターサービス）で あなたの経営を応援。 これがオリオンの思想です。 中央オリオン株式会社 宮城営業所 〒989-6226 大崎市古川新田字泉屋敷59番4号 TEL : 0229-26-4330 FAX : 0229-26-4338	 宮城県農業共済組合 TEL 0229-87-8281	次の一手を未来につなげたい 総合印刷企業 株式会社 東北プリント 〒980-0822 仙台市青葉区立町24番24号 TEL 022-263-1166 FAX 022-224-3986 E-mail mail@tohokuprint.co.jp
--	---	---

令和7年度生乳需給状況及び令和8年度生乳計画生産目標について

東北生乳販売農業協同組合連合会宮城支所
みやぎの酪農農業協同組合

1. 令和7年度生乳需給状況等

全国の生乳需給状況については、生乳生産量が増加する一方で飲用向け需要の減少により、飲用向けは前年比98.5%と減少、脱脂粉乳・バター等向けが前年比103.9%と増加し、脱脂粉乳の期末在庫が増加すると見込まれたことから、令和8年1月～3月に「酪農乳業需給変動対策特別事業」による在庫対策が決定されました。

また、宮城県の生乳生産量については、18戸の生産者が廃業しましたが、暑熱対策等を講じたことにより夏場の落ち込みが少なく、生乳生産量は91,019^{トン}、前年比100.8%と前年度並みとなりました。

(単位：^{トン}、戸、%)

団体名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期計		
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		出荷戸数	前年比	
みやぎの	4,933	101.3	5,094	101.5	4,855	103.7	4,644	102.9	4,637	108.2	4,409	103.5	28,572	176	103.4
全農宮城	1,171	100.7	1,204	102.2	1,108	103.2	1,095	103.4	1,071	106.5	1,023	103.9	6,672	43	103.2
宮城酪農	1,975	96.7	2,039	97.9	1,876	98.9	1,819	100.6	1,797	103.3	1,736	100.9	11,242	80	99.6
宮城県計	8,079	100.0	8,337	100.7	7,839	102.4	7,558	102.4	7,505	106.8	7,168	102.9	46,486	299	102.4

団体名	10月		11月		12月		1月		2月		3月		下半期計		
	前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比		出荷戸数	前年比	
みやぎの	4,717	105.6	4,435	102.7	4,630	104.5	4,574	101.2	4,240	98.7	4,822	96.0	27,418	171	101.4
全農宮城	1,044	100.7	1,009	99.3	1,063	99.3	1,083	96.0	1,025	95.4	1,149	94.0	6,373	43	97.3
宮城酪農	1,798	97.8	1,732	95.2	1,799	95.5	1,823	93.6	1,696	95.0	1,894	94.3	10,742	76	95.2
宮城県計	7,559	103.0	7,176	100.3	7,492	101.5	7,480	98.5	6,961	97.3	7,865	95.3	44,533	290	99.2

団体名	令和7年度計		出荷戸数	前年比
みやぎの	55,990	171	102.4	
全農宮城	13,045	43	100.3	
宮城酪農	21,984	76	97.4	
宮城県計	91,019	290	100.8	

2. 令和8年度生乳計画生産目標

(一社)中央酪農会議の基本方針に基づき、東北生乳販連が生乳の出荷目標を設定。宮城県の出荷目標数量は88,340^{トン}、前年比97.1%で設定されました。

団体名	令和8年度目標数量	
		前年比
みやぎの	52,840	94.4
全農宮城	13,500	103.5
宮城酪農	22,000	100.1
宮城県計	88,340	97.1

(生産支援課販売係 村田 孝志)



国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人 中央畜産会 × 一般社団法人 宮城県畜産協会

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。



仙台市中央卸売市場 食肉市場業務開始51周年記念枝肉共進会の受賞結果について

仙台市中央食肉卸売市場株式会社

仙台市中央卸売市場食肉市場において、7月8日（水）に仙台市中央卸売市場食肉市場業務開始51周年記念事業協賛会主催の枝肉共進会が、肉牛250頭・肉豚300頭上場で開催され盛会裡に終了いたしました。関係者各位に改めて御礼申し上げます。

厳正な審査により入賞された方々を紹介いたします。

なお、所属団体、出品者名、枝肉重量、せり単価の順で記載いたします。

【第1部黒毛和種（去勢）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	宮城家畜商出荷組合	(株)川村ファーム	福之鶴	美国桜	693.5	5,990
最優秀賞	仙台肉牛出荷組合	(株)川口ファーム	夏百合	美津照重	588.5	3,301
	みやぎ登米（豊里）	加藤 政昭	福之鶴	茂福久	519.5	3,150
	宮城家畜商出荷組合	佐藤 健	福之姫	安福久	622.0	3,001
	宮城家畜商出荷組合	日下 平一	福之姫	勝忠平	762.5	3,014
	仙台肉牛出荷組合	(有)根元ファーム	福之鶴	諒太郎	611.0	3,209
優秀賞	宮城家畜商出荷組合	高橋 浩	福之姫	安福久	636.5	3,202
	(株)丸市	小林 司	幸紀雄	安福久	556.0	2,858
	いしのまき（河南）	(株)川村ファーム	福之姫	美国桜	635.0	2,870
	新みやぎ（大郷）	(同) 村田ファーム	福之姫	安福久	626.0	2,806
	宮城家畜商出荷組合	川村 大樹	福之姫	美国桜	725.5	2,835
	一般	千葉忠畜産(株)	百合白清2	福之姫	606.5	3,000
	みやぎ登米（米山）	千葉 正太郎	茂福久	諒太郎	666.0	2,800
	いしのまき（河南）	橋本 隆	茂福久	諒太郎	648.5	2,698
	新みやぎ（築館）	佐藤 憲司	若百合	安福久	607.5	2,753

【第2部黒毛和種（雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統		枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
			父	母方の父		
名誉賞	宮城家畜商出荷組合	(株)遠藤畜産	百合未来	美国桜	548.5	8,888
最優秀賞	新みやぎ（栗駒中央）	佐々木 吉司	北美津久	平茂晴	442.5	3,357
	(株)丸市	(株)青柳畜産	若百合	喜亀忠	537.0	2,927
優秀賞	みやぎ登米（米山）	小野寺 充洋	茂福久	勝早桜5	495.5	2,827
	仙台（根白石）	瀬戸 金男	安百合幸	美国桜	595.0	2,594
	みやぎ仙南（蔵王）	沼辺 吉孝	茂福久	安福久	566.5	2,761
	宮城家畜商出荷組合	伊藤 修二	茂福久	幸紀雄	468.0	3,501

【第3部交雑種（去勢・雌）の部】

褒賞	所属団体	出品者名	血統（父）	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	一般	(有)ダイコク	北美津久	581.0	2,048
最優秀賞	仙台肉牛出荷組合	(有)金子ファーム	北美津久	640.5	2,050
優秀賞	宮城家畜商出荷組合	(株)日高見牧場	北美津久	497.0	1,859

【第4部肉豚の部】

褒賞	所属団体	出品者名	品種	枝肉重量 (kg)	せり単価 (円)
名誉賞	一般	(株)木村牧場	LWD	78.5	3,002
最優秀賞	太平洋ブリーディング(株)	宮城農場	WLD	79.5	952
	昭和畜肉研究会	(株)ケイアイファーム 玉山農場	LWD	75.0	952
優秀賞	丸山(株)	(農) 蔵王ファーム 本場	WLD	76.5	852
	日本農産工業(株)	社会福祉法人みんなの輪 ひなた農場	LWD	77.0	856
	伊藤忠飼料(株)	(有)大槻ファーム	LWD	80.5	852
	一般	(有)コマクサファーム	WLD	77.0	852
	一般	あべファーム	LWD	77.0	828

（営業部営業販売課 佐藤 幸裕）

 宮城野豚銘柄推進協議会	宮城県産黒毛和種   仙台牛公式 Instagram 仙台牛銘柄推進協議会	6月1日は  宮城県牛乳普及協会
--	---	---

令和8年度仙台牛枝肉共進会 in Tokyo 終了報告

全農宮城県本部

令和8年度仙台牛枝肉共進会inTokyoは、6月3日・4日で東京都中央卸売市場食肉市場において開催され、盛会のうちに終了しました。

《チャンピオン牛》

出品者 (株)川村ファーム (JAいしのまき)
 血統 父：福之鶴 母の父：安福久 母の母の父：百合茂
 規格 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 694kg
 枝肉単価 5,004円

《最優秀賞牛》

出品者 菅野 豊博 (JA新みやぎ)
 血統 父：勝秀好 母の父：茂福久 母の母の父：諒太郎
 規格 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 605kg
 枝肉単価 3,210円

《最優秀賞牛》

出品者 (有)根元ファーム (JA新みやぎ)
 血統 父：福之鶴 母の父：安福久 母の母の父：勝忠平
 規格 A-5 BMSNo.12 枝肉重量 633kg
 枝肉単価 3,642円

チャンピオン牛



左から 菅野豊博様
 (株)川村ファーム様
 (有)根元ファーム様

1) チャンピオン牛の概要について

格付は「A-5」で枝肉重量694kg、ロース面積150cm²、バラの厚さ10.5cm、皮下脂肪の厚さ1.5cm、歩留基準値87.0と、枝肉の厚みに優れており、ロース芯も大きく、大迫力の枝肉でした。

2) 審査経過

県内から選りすぐりの72頭が上場され、各平均数値は枝肉重量584.0kg、BMSNo.11.1、税抜単価が2,755円となっており、高値場での取引でした。

その他の成績については、平均数値でロース面積が去勢101.5cm²、メス82.3cm²、バラの厚さが去勢10.1cm、メスが8.9cm、皮下脂肪の厚さが去勢2.1cm、メスが2.9cm、歩留基準値が去勢79.9、メスが75.5と非常に優秀な数値を記録しました。

今年の大会も、肉の色つや、きめ締まり、ともに、大変良好な成績で、肉量・肉質兼備である仙台牛の特徴が際立つ枝肉が多くを占めました。全国でもトップレベルである宮城県産の実力を如何なく発揮された結果、A-5等級率は97.2%と非常に高い成績でした。

(畜産部生産販売課 茂木 辰也)

“World Milk Day” 理解醸成活動2026

宮城県酪農農業協同組合

国連食糧農業機関 (FAO) では、6月1日を「世界牛乳の日 (World Milk Day)」とし、日本では一般社団法人Jミルクが毎年6月1日を「牛乳の日」、6月を「牛乳月間」と定めています。

この記念日に合わせて、宮城県酪農農業協同組合と宮酪青年婦人連絡協議会は、令和8年6月1日(月)に秋保ヴィレッジ「アグリエの森」にて、一般消費者に牛乳や酪農の大切さを知っていただき、酪農に対する理解醸成と牛乳・乳製品の消費拡大を目的に活動を行いました。

当日は職員、宮酪青婦連会員、協力機関の計14名が、リーフレットを配布しながら、“みるく”にちなみ、369セットの牛乳・乳製品を無償配布し、牛乳・乳製品の消費拡大PRを行いました。

来場いただいた方々からは「これからも美味しい牛乳を作ってください。」「毎日飲んで応援します。」など、温かいメッセージをいただきました。

宮城酪農と宮酪青婦連は、今後も皆様にとくさん牛乳を飲んでもらえるよう、消費者の方々に酪農・牛乳に対する理解を深めていただける活動を継続して参ります。



(酪農振興課 寺島 慎也)

〈畜試便り〉

第21回現場後代検定成績

宮城県畜産試験場

第21回現場後代検定が終了しましたので、その概要について報告します。今回検定した候補牛は、第21回1次「咲太郎」号、「勝姫桜」号、2次「幸勝吉」号、「洋糸花」号の4頭で、検定は1次の2頭を令和6年4月22日から令和8年2月8日、2次の2頭を令和6年6月18日から令和8年3月16日に実施しました。

「咲太郎」号の父は「茂福久」（宮城県栗原市）、母の父は「美国桜」（栃木県）、母の母の父は「勝忠平」（鹿児島県）で、生産地は遠田郡涌谷町（浅野武史氏）です。現場後代検定成績では、枝肉重量523.9kg、BMS No.9.8となりました。つくりの良い枝肉が多く見られ、優れた結果でしたが、他の「茂福久」後継牛を下回る結果でした。

「勝姫桜」号の父は「茂福久」（宮城県栗原市）、母の父は「勝忠平」（鹿児島県）、母の母の父は「金幸」（鹿児島県）で、生産地は登米市豊里町（野村幸吉氏）です。現場後代検定成績では、枝肉重量516.9kg、BMS No.10.7となりました。また、ロース芯面積は83.8cm²で県歴代1位、BMS No.は県歴代2位と大変優れた結果でした。

「幸勝吉」号の父は「茂洋美」（宮城県栗原市）、母の父は「安福久」（栃木県）、母の母の父は「勝忠平」（鹿児島県）で、生産地は加美郡色麻町（岩城幸太郎氏）です。現場後代検定成績では、枝肉重量487.5kg、BMS No.9.8となりました。優れた脂肪交雑成績でありましたが、枝肉重量は父牛「茂洋美」を下回る結果となりました。

「洋糸花」号の父は「洋糸波」（宮城県栗原市）、母の父は「花之国」（宮城県大崎市）、母の母の父は「百合茂」（鹿児島県）で、生産地は遠田郡美里町（菅原邦彦氏）です。現場後代検定成績では、枝肉重量426.3kg、BMS No.8.1となりました。優れた成績の枝肉もありましたが、枝肉ごとのバラツキが見られました。

検定の結果、「勝姫桜」号が新規基幹種雄牛として選抜されました。産肉能力の高さに加え、「勝姫桜」号の産子は発育・体上線・体の伸びが優れていることから、肉用牛改良に活用することで宮城県産子牛の評価向上及び銘柄牛肉「仙台牛」の生産拡大の弾みとなります。家畜人工授精用精液は、7月から注文を受け付け、8月から配布する予定です。

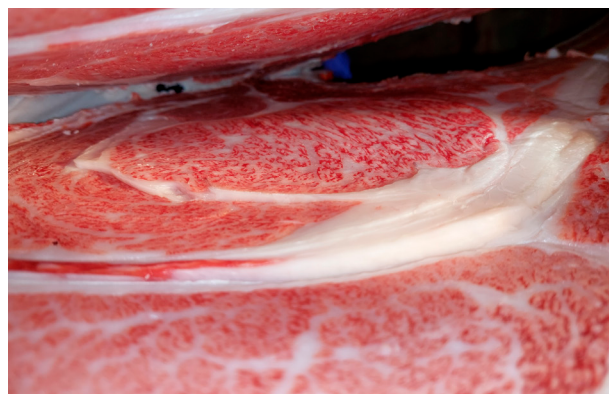
第21回産肉能力現場後代検定成績・全頭（平均値）

名 号	性別	頭数	出荷月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯面積 (cm ²)	バラ厚 (cm)	皮下脂肪厚 (cm)	歩留 基準値	基準値	BMS No.	肉質等級 4・5率(%)
咲太郎	去勢	12	29.4	545.4	74.8	9.0	2.0	76.6	3.1	9.8	100%
	雌	7	29.5	487.1	69.6	8.7	2.8	75.7	3.4	10.0	100%
	計	19	29.4	523.9	72.8	8.9	2.3	76.3	3.2	9.8	100%
勝姫桜	去勢	14	29.1	528.0	81.6	9.0	2.2	77.5	3.9	10.7	100%
	雌	6	28.5	490.9	88.7	8.7	2.6	78.3	3.7	10.5	100%
	計	20	28.9	516.9	83.8	8.9	2.3	77.7	3.8	10.7	100%
幸勝吉	去勢	6	29.7	545.7	67.0	9.1	2.6	75.0	2.9	9.0	100%
	雌	11	29.5	455.7	77.5	8.4	2.4	77.3	3.5	10.3	100%
	計	17	29.6	487.5	73.8	8.6	2.4	76.5	3.3	9.8	100%
洋糸花	去勢	3	29.3	405.8	55.3	7.5	1.4	75.3	2.0	7.0	66%
	雌	5	29.2	438.5	72.8	8.8	2.2	77.3	2.7	8.8	100%
	計	8	29.2	426.3	66.3	8.3	1.9	76.6	2.5	8.1	88%

※洋糸花は材料牛15頭未満のため、県独自で実施。



『勝姫桜』号



令和7年度現場後代検定合同調査会より

令和9年度宮城県農業大学校入校生を募集します（推薦入校試験）

宮城県農業大学校

本校は、農業の近代化と経済社会の発展に対応できる、高度な知識・技術を身につけ優れた農業経営者と農村地域の指導者を育成することをねらいとして設立された農業大学校です。

下記により、令和9年度入校生を募集する推薦入校試験が行われますので、多数の出願をお願いします。

記

◇募集人員（推薦入校試験・一般入校試験（前期・後期）の合計）

畜産学部15名、水田経営学部15名、園芸学部15名、アグリビジネス学部10名

（注）推薦入校試験の募集人員は学部定員の8割程度とします

◇試験区分 学校長推薦〔在学生対象〕、地域推薦〔既卒者対象〕

【宮城県農業大学校HP】

◇募集期間 令和8年9月1日（火）～令和8年9月15日（火）午後5時（必着）

◇試験日時 令和8年10月1日（木）午前8時45分～

◇試験場所 宮城県農業大学校名取教場

◇試験科目 ①筆記試験 小論文（60分 800字）

②面接試験 個人面接（15分程度）

◇合格発表日 令和8年10月16日（金）午前10時

◇奨学金制度

①本校を卒業後、宮城県内での就農を予定されている方は、公益社団法人みやぎ農業振興公社奨学金の申請ができます。

②本校を卒業後、就農を予定されている方は、国の事業である就農準備資金の申請ができます。

③独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度が利用できます。

※上記①～③の奨学金の採択に当たっては一定の要件を満たす必要があります。

入校試験・奨学金等についての詳細は、宮城県農業大学校教務部学生班・教務班（電話022-383-8138）までお問い合わせください。



〈衛生便り〉

粗飼料の「硝酸塩中毒」に注意！

宮城県仙台家畜保健衛生所

硝酸塩は植物体内に蓄積しやすく、これを反芻獣が摂取すると体内で毒性の高い亜硝酸塩に変化し、チアノーゼや呼吸困難などを引き起こし、最悪の場合急死します。令和6年の宮城県内の事例では、硝酸塩濃度が高い粗飼料（1,000ppm以上）を食べた羊が、明確な中毒症状はないまま寄生虫感染との併発で急死しました。体調不良が重なるとより死亡リスクが高まるので注意しましょう。

◆粗飼料中の硝酸塩濃度が高まる要因

- ・堆肥の過剰施用：土壤中の過剰な窒素成分が植物へと吸収され、硝酸塩として蓄積するおそれがあります。
- ・天候不順・若刈り：日照不足や生育の早い段階での刈り取りは硝酸塩の蓄積を招きます。

◆農場でできる対策

- ・土壌分析を行い、過剰な施肥を控えましょう。
- ・硝酸塩濃度が高い可能性のある粗飼料は、簡易試験紙や専門機関での成分分析を行いましょう。また、単体で与えず、他の安全な粗飼料と混ぜて給与量を減らしてください。

（仙台家畜保健衛生所 塩原 綾早）

（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

畜産現場の“今”を30分の番組にしました！

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！

配信中の内容：ヨーロッパアルプ酪農の力とチーズ街道
オーストリア・ブレゲンツァーヴァルト
日本畜産学会100周年 第132回大会総
集編／国際養鶏養豚総合展2024 総集編
ほか

▼スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846

第61回宮城県ブラックアンドホワイショウの結果について

宮城県ホルスタイン改良同志会

去る令和8年6月20日(土)みやぎ総合家畜市場を会場に、第61回宮城県ブラックアンドホワイショウが開催されました。審査委員に株式会社野澤組 畜産部 衆 咲良(くめ さくら)氏をお招きし、8部41頭による審査が行われ、無事盛会裡に終了することが出来ました。

開催にあたり、多大なるご支援ご協力を賜りました関係各位に心より御礼申し上げます。

褒 賞	部	名 号	市町村	出品者氏名
未經産牛グランドチャンピオン	1	ミヤノウ バニラ ヘブン アガチユウ E T	名取市	宮城県農業高等学校
経産牛グランドチャンピオン	8	エリートジエン モントロス エン E T	丸森町	(有)半澤牧場
ベストリードマン賞 : 栗原市 小山 来翔				
団 体 賞 : 仙南地区				

なお、審査結果の詳細は下記リンクよりご覧いただけます。

<https://www.miyagi-chikusan.jp/miyagi-doshikai>

(事務局:宮城県畜産協会 家畜改良課 遠藤 航)

令和8年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ

一般社団法人 宮城県畜産協会

農林水産祭参加 令和8年度宮城県総合畜産共進会を下記日程のとおり開催いたしますので、ご案内いたします。

記

- 肉用牛の部
・会 期 令和8年9月4日(金)～5日(土)
・場 所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
・一般参観 9月5日(土) 9:30～13:00
- 乳用牛の部
・会 期 令和8年9月29日(火)
・場 所 みやぎ総合家畜市場(美里町)
・一般参観 9月29日(火) 9:30～13:00
- 肉豚の部
・会 期 令和8年10月21日(水)～23日(金)
・場 所 (株)宮城県食肉流通公社(登米市)
・枝肉展示及び褒賞授与 10月23日(金) 10:30～12:00

価格安定対策事業の発動状況について

一般社団法人 宮城県畜産協会

◎肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の交付金単価

販売月	肉専用種(宮城県)	交 雑 種(全国)	乳 用 種(全国)
令和8年4月 (概算払)	—	—	(3,359.9円)
5月 (概算払)	—	—	—

宮城県動物薬品器材協会(会員名)

(株)アスコ東北オフィス

仙台市泉区泉中央4丁目19-1 TEL022-347-4138

小 田 島 商 事 (株)

大崎市古川清水字周防10-1 TEL0229-26-4567

M P ア グ ロ (株)

仙台支店 仙台市太白区富沢南二丁目8-9 TEL022-245-4306

(株)アグロジャパン南東北営業部宮城チーム

仙台市泉区八乙女3-3-1 TEL022-343-5301